

# 大阪産業大学市民講座開講

**【教養部】教養教育・研究の現在**

**【経済学部】アズキと東アジア**

**【地域連携特別講座】**

**「地域の歴史」と「相続税改正」**

**日程** 5月9日～6月27日 毎週土曜日 全13回

**時間** 午前の部 10:30～12:00 午後の部 13:00～14:30

**会場** 大阪産業大学 本館3階 0302教室 (6月13日、20日、27日は9号館3階9301教室へ変更)

**対象** どなたでも受講していただけます

**定員** 各講座100名

**受講料** 無料

**主催** 大阪産業大学

**後援** 大東市、大東市教育委員会、大東商工会議所



JR住道駅から大学専用シャトルバスがご利用いただけます。

住道駅前大学専用シャトルバスターミナルからのご乗車の場合、

乗務員に「市民講座受講」とお伝えください。

お帰りの際は、会場受付にて「訪問カード」を受け取り、

乗務員にお渡しください。

お車でのご来校はご遠慮いただきますようご協力をお願いいたします。



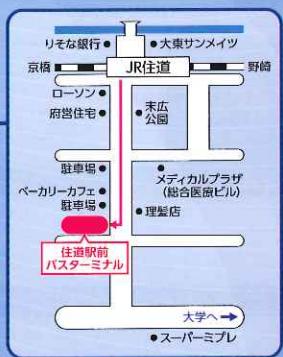
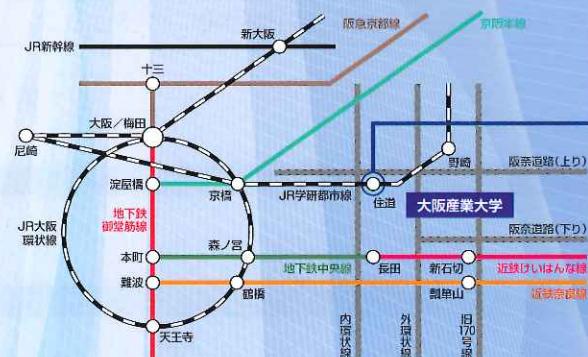
**シャトルバス時刻表QRコード**

QRコードの読み込みが上手くいかない場合は、申し訳ありませんが、下記アドレスを入力してご利用ください。

<http://www.osaka-sandai.ac.jp/ks/>

## アクセス

JR学研都市線「住道」駅下車、駅南側の大学専用シャトルバスターミナルから大学直通シャトルバスで約15分。住道は快速電車停車。  
JR学研都市線「野崎」駅下車、南へ徒歩約15分。



## 教養部

## 教養教育・研究の現在

5月9日 午前  
瀬島順一郎 教授 [教育心理学]

## ① 伝承としての教育

吉田松陰は獄中で囚人の人たちを教化したといわれています。教育といふものは人と人の間で発生するものです。絶えず学校という教育の場で生徒と教師という関係の中で大切なのは何でしょうか? 恩師の言葉を探ります。

5月16日 午前  
今中舞衣子 講師 [言語教育学]

## ② 自分史を書く

自分史は、無名の人々の人生の記録、戦争・災害等の特殊な体験の語り、精神科の治療やカウンセリング、就職活動のための自己分析などさまざまな側面をもっています。この講座では、「自己を物語る」という行為そのものの役割について考えてみたいと思います。参加された方自身の自分史づくりの準備活動も行います。

5月23日 午前  
佐藤潤一 教授 [憲法学]

## ③ コモンウェルスの『憲法』

—日本と違う「憲法」のはなし

多くの方にとって、憲法はひととままりの法典であることが普通です。けれども世界に目を転じれば、まとまつた法典が全くないイギリスや、法律の集合で憲法が形成作られるニュージーランド、州憲法はイギリス流で、連邦憲法はアメリカ流のオーストラリアなど、様々な形があります。政治の仕組みと人権保障の仕組みの二点について、いわゆるプリティッシュ・コモンウェルスに属する国々の「憲法」についてお話しします。

5月30日 午前  
宮原敏 教授 [英語教育学]  
金崎茂樹 准教授 [英文学]

## ④ 英語多読の世界

最近「英語多読」という從来と異なる学習法が注目されています。中学1年修了程度の初級者でも読める平易な本を、楽しみながら大量に読むことによって英語の構造や文法が自然に身につきます。この講座では具体的な方法、使用する本の実物などを紹介しながら多読の魅力を紹介します。英語学習をやり直したい方も大歓迎です。

6月6日 午前  
定金浩一 准教授 [臨床心理学]

## ⑤ 広汎性発達障がいについて

—自閉症、アスペルガー症候群など—  
アスペルガー症候群という言葉をこの頃耳にされたことがありますか? アスペルガー症候群は、自閉症と同じ広汎性発達障がいに分類されます。ええ、自閉症とアスペルガー症候群が同じ分類? 広汎性発達障がいとは何? 今回は広汎性発達障がい、自閉症、アスペルガー症候群について話します。

6月13日 午前  
鈴木邦雄 教授 [運動生理学]

## ⑥ 日本人の死生観について

2005年に日本では生まれる人よりも死ぬ人の数が上回りました。30年前までは、どんどん人口が増え続けていくのを不安にしていたのが、今では人口減少により、農村が消滅していくことを心配するようになっています。日本人の死生観にどのような変化が起きているのかを衛生学の立場から考えてみます。

6月20日 午前  
西口利文 准教授 [教育心理学]

## ⑦ 「脱・信念」を心理学から考える

私たちにとって「信念を貫く」ことは、困難な目標に向けて努力するのに重要な態度と言えます。しかし「信念を貫く」ことで、自分はおろか周囲を混乱に巻き込んでしまうこともあります。本講座では「信念から脱する(脱・信念)」という視点を踏まえて、自らの「信念」との向き合い方について心理的に考えます。

6月27日 午前  
堀越亮 准教授 [化学教育]

## ⑧ 潜水艦から学ぶ気体の化学

「潜水艦」と「気体の化学」。一見、縁遠そうな事柄ですが、実は強い繋がりがあります。この講座では演示実験を交え、「潜水艦」と「気体の化学」の繋がりを紹介します。①艦内の空気清浄と気体吸着、②潜水艦の動力と触媒反応、③潜水艦の事故と電気分解、④潜行時の欺瞞作戦と気体発生

## 経済学部

## アズキと東アジア

6月6日 午後  
田嶋俊雄 教授 [国際経済学科]

## ⑨ 小豆と日本人

日本の小豆市場は、ここ数年おむね年間11万トン程度で推移し、このうち中国産が約6万トン、北海道産がそのうち約9割を占めます。輸入は約5万トンで、内訳は中国産約1.5万トン、カナダ産約1万トンのほか、「あんこ」の形で輸入される小豆が中国からさらに約2.5万トンです。小豆はハレの日の食材や和菓子の原料として不可欠なことから、日本では先物取引の対象ですが、他方で輸入は規制され、国内生産は「閑税割当制度」のことで保護されています。

6月13日 午後  
田嶋俊雄 教授 [国際経済学科]

## ⑩ 韓国・台湾の小豆消費と農業保護政策

韓国と台湾は、かつては中国とともに小豆もしくは「あんこ」を日本などに輸出していました。しかし経済発展とともに輸出入が逆転し輸入依存が高まり、小豆輸入に関する話題は日本のライバルになっています。また日本と同様に「閑税割当制度」のもとで小豆生産を保護しており、対外的な貿易自由化交渉の場でも、日本と同様に守勢に回っています。

6月20日 午後  
田嶋俊雄 教授 [国際経済学科]

## ⑪ 中国産小豆はいつまで買えるか

中国の小豆生産は年間25万トン程度ですが、綠豆、大豆、トウモロコシなどとの競合により、供給が減少しています。他方で中国の小豆消費は拡大傾向にあり、今後の輸出余力は不透明です。日本のスーパーなどで売っている廉価な和菓子、アンパンやアイスキャンディの原料である中国産小豆の輸入がじり貧になり、さらに円安も加わり割高になることが懸念されます。

## 地域連携特別講座

## 「地域の歴史」と「相続税改正」

過去の市民講座アンケートにおいて、ご要望が多かった「地元地域について」、「相続について」の内容で講座を開催いたします。

5月9日 午後  
尾崎明幸 非常勤講師 [人間環境学部文化コミュニケーション学科]

## ⑫ 古代史から見える生活文化と地球環境の変動

大阪産業大学周辺には、鍋田川遺跡をはじめ中垣内遺跡や堂山古墳群(寺川)が点在しています。日本列島の変化にとも激しい地球環境変動の様子をはじめ、様々な副葬品や遺跡出土遺物から道具を作る地域色あふれる豊かな文化を築き上げてきた人々の暮らしや大刀と鉄剣の復元過程などをお話しします。

5月16日 午後  
田中勝正 特任准教授 [経営学部商学科]

## ⑬ 相続税の改正と“相続”の相談事例について

平成27年1月1日から「相続税」のルールが変わりました。改正後の基礎控除額は、「3,000万円+600万円×法定相続人数」となり、法定相続人3人では3,200万円の減少となります。今まで相続税とは無縁なものと思っていた方でも、課税対象者となってしまうケースが、統計によれば1.5倍と大幅に増えると予想されます。例えば、今年から相続する正味遺産額が、3,600万円以上ある人は相続税がかかる対象となります。また、相続財産の遺産金額に関係なく「遺産分割でもめるケース」も増えており、家庭裁判所での調停件数も大幅に増加しています。今回のセミナーでは相談事例を紹介しながら、いざという時に慌ててしまわないための「お役に立つ」セミナーです。

## お申し込み方法

大阪産業大学のホームページ (<http://www.osaka-sandai.ac.jp/sanken/>) からお申し込みください。ハガキ、FAX、E-mailにてお申し込みをされる場合は住所、氏名(フリガナ)、電話番号、参加希望の講座番号を明記してお申し込みください。また、FAXを使用される場合は下記申込書をご利用ください。

## お問い合わせ・お申し込み先

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1

大阪産業大学産業研究所事務室「市民講座」係

TEL: 072-875-3001 (内線2814・2818) FAX: 072-875-6551

E-mail: shi-kouza@cnt.osaka-sandai.ac.jp

本申込書は大学にて厳重に保管し、記入いただいた内容や本講座申し込みにて知り得た情報は、市民講座運営・大学関連行事のご案内をする目的以外には一切利用いたしません。

## 平成27年度 前期市民講座 受講申込書

受講を希望される講座名の番号欄に (チェック) をお願ひいたします。

フリガナ

氏名

(男・女)

(歳)

TEL

住所【都道府県・市町村・マンション名・号室までご記入ください】

〒

FAX

E-mail【緊急のお知らせなどをお送りする場合がございますのでお持ちの方は必ずご記入ください】

@

**FAX: 072-875-6551**

送信時の表裏の間違いが多くなっております。送信面のご確認をお願いいたします。



# 大阪産業大学市民講座開講

## 【経営学部】

**現代の消費者ニーズに応える  
サービスの提供**

## 【人間環境学部】

**歴史の旅へのいざない**

## 【工学部】

**交通機関の安全性、エネルギー消費低減と  
利便性向上のための技術開発**

【短期大学部】**自動車技術講座**【デザイン工学部】**新しいデザイン工学の動き**

**日程** 10月3日～12月5日 土曜日 全13回(10月17日・24日・31日は休講)

**時間** 午前の部 10:30～12:00 午後の部 13:00～14:30

**会場** 大阪産業大学 本館3階 0302教室

(11月7日:13号館13101教室、11月28日(午後):第3実習場)

**対象** どなたでも受講していただけます

**定員** 各講座100名

**受講料** 無料

**主催** 大阪産業大学

**後援** 大東市、大東市教育委員会、大東商工会議所

JR住道駅から大学専用シャトルバスをご利用いただけます。

住道駅前大学専用シャトルバスターミナルからご乗車の場合、

乗務員に「市民講座受講」とお伝えください。

お帰りの際は、会場受付にて「訪問カード」を受け取り、

乗務員にお渡しください。

お車でのご来校はご遠慮いただきますようご協力をお願いいたします。

**シャトルバス時刻表QRコード**

QRコードの読み込みが上手くいかない場合は、申し訳ありませんが、大阪産業大学ホームページの交通アクセスにてご確認ください。

<http://www.osaka-sandai.ac.jp/>

**アクセス**

JR学研都市線「住道」駅下車、駅南側の大学専用シャトルバスターミナルから大学直通シャトルバスで約15分。住道は快速電車停車。

JR学研都市線「野崎」駅下車、南へ徒歩約15分。



**経営学部 現代の消費者ニーズに応えるサービスの提供**

モノ不足の大量生産大量販売大量消費の時代を終え、モノ余りの時代になり、「欲しいモノしか、必要な時にしか買わない」というように消費者の行動が変化した。また、高齢化社会、グローバル競争など、企業を取り巻く経営環境も大きく変わった。本講座では、買い物弱者とLCC（格安航空会社）について、動向と事例を紹介します。

10月3日 10:30~12:00

浜崎 章洋 教授 [商学科]

**① 買い物弱者対策—離島、過疎地、ニュータウンの事例—**

日本には、日常の買い物に支障をきたしている高齢者、妊産婦などの「買い物弱者」が、600万人いると言われている。これは、過疎地、山間部だけの問題ではなく、住民の高齢化が進んだニュータウンなど都市部でも発生している。

本講座では、離島、過疎地、ニュータウンの買い物弱者の実態調査と各地域の対策について紹介します。

10月10日 10:30~12:00

中村 徹 教授 [商学科]

**② LCCのビジネスについて**

アメリカの航空市場にサウスウェスト航空が登場して以来、欧米ではLCCがそのビジネスモデルを確立し、今日ではLCCが世界の航空市場を席巻する勢いで成長している。わが国が位置する東アジアの諸国にもLCCが相次いで誕生し、アジアの航空市場を塗り替えようとする勢いである。それでは、わが国のLCCの状況はどうであろうか。このようなことをテーマにしてお話をします。

**工学部 交通機関の安全性、エネルギー消費低減と利便性向上のための技術開発**

交通機関には利便性と安全性の両立が求められており、近年は環境への配慮、特にエネルギー消費低減も必要になっています。こうした観点から世界を先導してきた新幹線の技術開発と日米欧で先端技術が研究されている自動車の自動運転技術について紹介します。

10月3日 13:00~14:30

大津山 澄明 教授 [交通機械工学科]

**③ 新幹線開発の歴史と将来の鉄道**

東海道新幹線が開業し50年、また山陽新幹線の開業から40年たち、日本は世界の高速鉄道をけん引してきました。この新幹線誕生までの技術開発の歴史を安全性、利便性、環境調和の観点から概説します。また、将来的な鉄道の形態と方向性を示します。

11月7日 10:30~12:00 ※13号館13101教室

梅井 一英 教授 [交通機械工学科]

**④ 自動車の運転支援から自動運転へ 一人間と人工知の協調**

乗用車にコンピュータが使われてからまだ40年にもなりません。当初の排ガス規制対応から今では衝突防止のブレーキ制御にも使われています。数年後には自動ハンドル操作が実用化される見込みで、人間と自動運転技術(人口知)との協調について紹介します。

**短期大学部 自動車技術講座**

日本の発展、科学技術の進歩とともに自動車は普及・進化してきました。このとでも身近で便利なモビリティの安全に寄与するため、本短期大学部は数十年にわたり、自動車整備士の養成を行ってきました。市民講座では整備士教育に携わってきた視点から、自動車技術と関連分野についてお話しします。

10月10日 13:00~14:30

岩橋 善久 教授 [自動車工学科]

**⑤ SI単位系と、その接頭辞について**

工学の学問分野の一つである情報処理・計測工学の中で、最も基本的かつ重要なものに「単位系」がある。これは自動車分野はもちろん、生活の様々な場面で登場する。

本講は、単位を取り決めることの重要性、歴史的背景、そして現在定義されている「SI基本単位」と「組立単位」等についてお話し、併せて使用する「SI接頭辞」について解説します。

11月7日 13:00~14:30 ※13号館13101教室

才原 篤 講師 [自動車工学科]

**⑥ ディーゼルエンジン昔と今**

ディーゼルエンジンの効率の良さに加えて、社会にいかに寄与しているかを理解していただき、その上で、最新のエンジン技術の素晴らしさを解説したいと思います。カットモデルエンジンを参考にエンジンの一例を見ていただきたいと思います。

11月28日 13:00~14:30 ※第3実習場

森川 勝吉 准教授 [自動車工学科]

**⑦ 自動車用電気装置の基本**

「モーターは回るもの」「発電機は発電するもの」という私たちの身近にある電気装置の構造とその働きを実際に体験をしましょう。

12月5日 10:30~12:00

石井 清 教授 [自動車工学科]

**⑧ 自動車の技術の変遷について**

戦後、日産のオースチン、いすゞのヒルマン・ミニクス、日野のルノーなどのノックダウンにより欧州車の技術を学び、日本人の勤勉・努力・研究・創造力により、今日世界のトップレベルの自動車大国となった技術進化の一端を辿り紹介します。

**デザイン工学部 新しいデザイン工学の動き**

豊かな感性と高い技術を背景にした、人にやさしい「ものづくり」。あわせで快適な暮らしと社会を創造する、新しいデザイン工学のあり方について「情報システム」と「インテリアデザイン」の視点から考えます。

11月14日 10:30~12:00

高根 健也 教授 [情報システム学科]

**⑨ 情報システムとデザイン工学**

一部の専門家のための装置に過ぎなかったコンピュータは、今や誰もがあらゆる用途に利用する道具となりました。また、その操作もボタンなどの画面上の部品を使って簡単にできるようになっています。情報システムにおけるデザインの役割について、スマートフォンのアプリ開発などを例にお話いたします。

11月21日 10:30~12:00

ペリー 史子 教授 [建築・環境デザイン学科]

**⑩ インテリアデザインと幸せ感**

居心地の良い空間／場所にいると私たちの「幸せ感」は高まります。インテリアデザインとは、私達の一番身近な空間を、使う人の関係を大事にしつつデザインすること。様々な空間デザイン例を取り上げて、使いやすく安全で気持ちよく、美しい空間をデザインすることについて、いろいろな角度から考えてみたいと思います。

**人間環境学部 歴史の旅へのいざない**

本講座は三人の講師が歴史の旅の案内人として、北河内に堆積する古代・中世史、熊本に息づく近世史、上海租界に刻まれた20世紀史にいざない、歴史の旅のだいご味を伝えようとするものです。

11月14日 13:00~14:30

市村 高男 特任教授 [文化コミュニケーション学科]

**⑪ 大東畷地域から見た古代中世の摂河泉**

大阪の歴史は、上町台地を中心に語られる傾向があります。しかし、大東・四條畷地域にも古くからの遺跡や遺物が存在し、「大阪の田舎」とされる現在とは異なる状況にありました。今回は、大東・四條畷地域にも最先端文化が伝播していたことを紹介し、地域の再評価を試みたいと思います。

11月21日 13:00~14:30

北野 雄士 教授 [文化コミュニケーション学科]

**⑫ 幕末の熊本を訪ねて—横井小楠と肥後藩**

熊本は石垣や長堀の美しい熊本城や第五高等学校など江戸・明治期の息吹を伝える建物が多く残っています。横井小楠は城下で肥後藩士の次男に生まれ、儒学を学んで私塾を開き、開國を唱えました。小楠は訪ねてきた吉田松陰や坂本龍馬を感化しました。熊本に残された小楠の足跡をたどりながら幕末武士の生き方を追体験します。

11月28日 10:30~12:00

藤田 拓之 准教授 [文化コミュニケーション学科]

**⑬ イギリス人と日本人の上海**

現在、中国経渉の中心地である上海。19世紀にこの都市の基礎をつくりあげたのはイギリス帝国でした。20世紀に入ると多くの日本人が移り住み、日本人街「リトルトーキョー」を形成するとともに、イギリス人のライバルとなりました。上海をめぐるイギリス人と日本人の関わり合いについてお話したいと思います。

**お申し込み方法**

大阪産業大学のホームページ (<http://www.osaka-sandai.ac.jp/>) からお申し込みください。ハガキ、E-mailにてお申し込みをされる場合は住所、氏名(フリガナ)、電話番号、参加希望の講座番号を明記してお申し込みください。また、FAXを使用される場合は下記申込書をご利用ください。

**お問い合わせ・お申し込み先**

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1

大阪産業大学産業研究所事務室「市民講座」係

TEL: 072-875-3001 (内線2814・2818) FAX: 072-875-6551

E-mail: shi-kouza@cnt.osaka-sandai.ac.jp

本申込書は大学にて厳重に保管し、記入いただいた内容や本講座申し込みにて知り得た情報は、市民講座運営・大学関連行事のご案内目的以外には、一切利用いたしません。

**平成27年度 後期市民講座 受講申込書**

受講を希望される講座名の番号欄に☑(チェック) をお願ひいたします。

フリガナ	TEL
氏名	(男・女) (歳)
住所 [都道府県・市町村・マンション名・号室までご記入ください]	FAX
〒	
E-mail [緊急のお知らせなどをお送りする場合がございますのでお持ちの方は必ずご記入ください]	@

**FAX: 072-875-6551**

送信時の表裏の間違が多くなっています。送信面のご確認をお願いいたします。

